

平成29年度決算を審議

決算審査特別委員会

9月定例会では、町当局から提出された平成29年度一般会計・特別会計決算について、これらの審査が決算審査特別委員会に付託※され、4日間にわたり委員会での審議が行われました。ここでは、主な質疑と意見を掲載します。

一般会計（主な質疑）

●エコセンター負担金

問 エコセンター負担金をどのように考えているか。



エコセンターの改修工事に伴いゴミの有料化を考える時期に来ている

答 現在行われている改修工事が終われば毎年1億円を超える償還金の負担が始まる。大きな負担でありゴミの有料化も考えなければならぬ時期に来ている。

●選手派遣費補助金

問 中学校の部活動について、部活にない種目を続けている生徒もいるが、選手派遣費補助金の対象となっているか。

答 これまでも町長、教育長の判断を仰ぎ決められてきたが、事務局としては部活動にない種目でもそれぞれの中学校の代表として試合に出場するのであれば、対象としてよいのではないかと考えている。

一般会計（決算に対する意見）

●財政調整基金

財政調整基金は、平成29年度末現在で7億1千675万円となった。国の基準を超えてはいるが、賀茂郡の町の中では最低の規模である。財政調整基金は、災害発生時には国県の支援が届くまでの間、被災者支援を行う重要な役割も担っている。財務省との協議でも標準財政規模の30%程度、概ね10億円の確保が必要との指導もあることなので、財政調整基金の積み立てを計画的に行うよう対応されたい。

●交流・定住促進事業

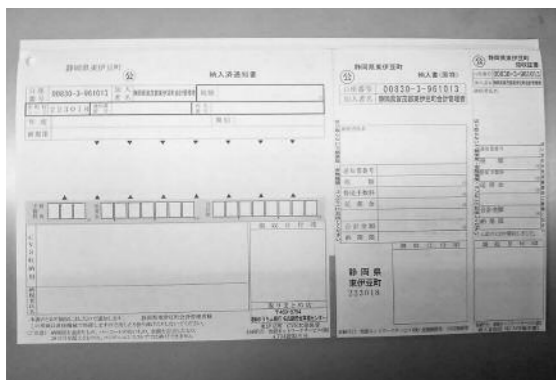
移住相談会や移住フェアなど展開されている交流・定住促進事業は一定の効果を上げているが、着地点である空き家バン

ク推進事業については、平成29年度での利用実績がなかった。田舎暮らしを実感できる物件が少ない状況もあり、地域で活用されていない空き家を再度発掘・調整し、移住希望者に提供できる環境を整え、定住者の確保に繋がらねたい。

●老人福祉費

一人暮らし老人緊急通報システムでは、新設数より撤去数が多く、高齢者等配食サービス事業も僅かながら減額になっている。町では高齢化が進み、高齢者（単身・夫婦）世帯が増加しているなか、特にこの二つの事業については、町で自立して生きていく上では欠くことのできない施策となっており、高齢者が安心して暮らしていけるよう、更なる制度の見直しと拡充に努められたい。

※付託とは・・・議会で、議案の審査を本会議の議決に先立って他の機関に委ねること。



コンビニ納付は全国どこでも可能

特別会計（主な質疑）

●国民健康保険

問 コンビニ収納代行業務委託料の1件当たりの料金及びコンビニ収納の全体に占める割合と金額は。また、納付は全国どこでも可能か。

答 コンビニ委託料は1件あたり税抜きで56円。コンビニ収納の割合は11%で収納額は4千958万3千円であった。

納付については、全国のコンビニ店どこでも可能である。

●介護保険

問 居宅介護サービス利用者の減の要因は。

答 昨年4月にスタートした総合事業は、軽度者が介護認定を受けなくてもサービスを受けられることが可能となった。そのため、軽度者が総合事業に移行したことにより居宅介護サービス利用者の減につながったと考えられる。

●風力発電事業

問 基金が計画どおり積立されておらず、風力発電会計の運営のあり方として疑問であるが。

答 基金については、平成20年度末には7千600万円の残高であったが、落雷事故による修繕等のため基金取り崩しを行い、平成28年度に基金残額がゼロとなった。

20年間の事業を終えて撤去費用を確保しておくという目標であったが、会計の運営としては適切でなかったと考える。

●水道事業

問 収益的収支が黒字の要因は何か。

答 水道事業会計は、企業会計の原則である「効率的な運営を考慮した予算」とするため2千736万8千円の黒字を見込み予算を編成したが、決算が黒字となった主な要因として次の点があげられる。

- ①職員の人事異動により、人件費減となったため。
- ②動力費（電気料金）が予算で見込んだ金額より約700万円程度安価となったため。
- ③4条予算（資本的支出）の工事が若干少なくなったことなどにより消費税が見込んだ金額より190万円程度の減となったため。
- ④高濃度薬品に一部切り替えたことによる薬品費減のため。

特別会計（決算に対する意見）

●介護保険

アスド会館プールが閉鎖されたが、介護予防は重要であることから、代替施設の検討も含め今後も引き続き介護予防事業の充実を図られたい。

●風力発電事業

民間企業との共同事業による風力発電の新設が検討されているとのことだが、これまでも落雷による故障など想定外の事故が発生していることから、当初計画した事業が順調に進むことは非常に難しいと考える。

また、大型風車の建設が想定されることから、近隣の保育所、商業施設への低周波、騒音などによる影響について十分調査した上で、慎重に検討されたい。